

大分市教育センター ICT活用レター

令和6年度
Vol. 5
通算86号

2024. 6. 19発行

◇次の一歩につながる夏にしましょう。

今年度も、夏季休業中に大分市教職員研修「情報教育研修 ICT活用講座」を実施します。「ICTを使うのが苦手」と思っている方や、「もっと活用を進めたい。新しいことにもチャレンジしたい。」と思われている方にとって、次の一歩につながるように講座を10本開設します。今回は、その中からいくつか紹介します。

◇「ロイロを使った授業をしたいけど、よくわからない」方向け

7/24 (水) AM: ロイロの世界へようこそ!

基本的な操作内容や全国での活用事例を扱います。

◇便利で新しい機能にチャレンジ!

7/26 (金) AM: デザインツール「Canva」基礎講座

7/31 (水) PM: GoogleのAI「Gemini」を活用

◇iPadを使った授業実践で有名な山下若菜指導主事招聘

7/25 (木) PM: iPadを使った授業づくり (詳細は右参照)

様々な講座を準備していますので、一緒に学んで、次の一歩へつなげていきましょう!

参加申し込みは、下記二次元コードから

- ・各自で申請できます。
- ※管理職に参加の可否を確認してください。
- ・6月28日(金)までに申請してください。

※令和6年6月12日付け
教委セ777号にて通知済

HP上には
不掲載

講師紹介

山下 若菜さん

熊本市教育センター
教育情報班指導主事。2019年より
NHK for school「GIGA研」メンバー
を務める。
Apple Distinguished Educator 2023。

7/25 (木) 14:00~16:30

「学ぶって楽しい!」を実現! ~iPadを活用した授業づくり~
元気をもらえる講義です。ぜひ、参加してください。



Distinguished
Educator

◇取組が少しずつ進んでいます

日常的に端末を持ち帰る学校が、少しずつ増えてきています。もちろん「持ち帰る」ことが目的ではありません。下記のような目的をもって、着実に、取組を進めていきましょう。

◇学習支援

デジタルドリル等を活用することで、家庭学習の習慣化・基礎学力の定着などを図ります。

◇児童生徒の情報活用能力育成

「発表資料を作る」「調べ学習で活用する」「タイピング練習をする」など、児童生徒自身が端末の活用方法を考え、工夫する機会とします。

◇学びの継続

日常的に持ち帰りを行っておくことで、児童生徒が学校に通えない状況(不登校・病気・災害等)になっても、端末を活用して学びを継続できることにつながります。

荷物を軽くするために、**教科書や板書を撮影し、端末とノートだけを持ち帰る学校**もあります。

まずは、週末の持ち帰りから始めていきましょう。

◇モバイルルータの貸与について

インターネット環境のない家庭でも、デジタルドリル等を活用した学習ができるように、**現在、児童生徒に貸与できるモバイルルータの「追加開設希望調査」**を行っています。

夏季休業中の貸与も可能ですので、必要な「学年・台数」を右二次元コードから申請してください。

7月からの貸与を予定しています。

HP上には
不掲載

◇「端末持ち帰り」に係る資料について

大分市ICT活用支援サイト上に、一人1台端末の持ち帰りについて、留意事項や活用事例をまとめた資料をアップしています。

端末の破損・故障についても、原則市の修繕費で対応しますが、大切に扱うことについては、指導願います。



支援サイト

《費用が

自己負担となる例》

- ・わざと破損させた
- ・ペットがコードをかじった
- ・紛失した

※費用負担については、**状況を聞きとった上で判断**します。

□ 運用に当たっての留意事項

(3) 端末の故障への対応

家庭で故障した場合も、学校を通して大分市教育センターに連絡し、修理等の対応を行います。

原則、市の修繕費で対応

下記の場合、家庭、学校と相談の上、費用負担を求められます。



・故意によるもの

・重大な過失が認められるもの

※学校備品を破損したときと同様

◇「できることと、やっていいことは違う」

iPadを持ち帰った際、学校で撮影した友達の画像を自分の端末に移動して、SNSにアップする…という事例が全国的に発生しています。

当該行為は、「肖像権侵害」や「名誉毀損罪」に問われる可能性もある不法行為であること。そして、インターネット上にアップした画像は、無限に複製され、勝手にアップされた人の心をいつまでも傷つける恐れがあることを子どもたちに伝えて欲しいと思います。

個人で携帯を所有する子どもたちが増えていく今、このような問題は避けて通れません。端末持ち帰りの機会をチャンスと捉え、指導につなげてください。